指定校番号	27109

別紙様式２

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立久保中学校	校長氏名	利田　亨次	生徒指導主事氏名	得能　彩子

取組事例名　『縦割り掃除』

取組のねらい『キーワード　自己肯定感の向上』

・生徒による自発的，自治的な活動を通して，達成感や自信をもたせる。
・主体的に学校づくりに参加し，学校の一員としての意識や責任感を養う。

取組の具体的内容『キーワード　自己決定の場を与える』

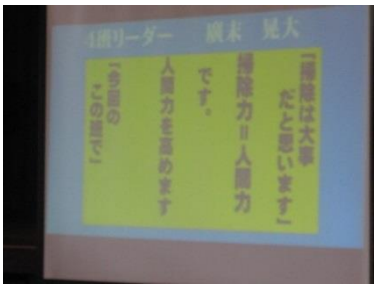
①　リーダー会を開催し，縦割り掃除の意義づけや，班決めを行う。
　１・２学期は３年生がリーダー，３学期は２年生がリーダーとなる。班は１０～１２名とし，１６班作成する。
②　全校でオリエンテーションを実施する。リーダーからの決意表明や，取組方法を確認する。その後，各班に分かれてのミーティングを行う。
③　掃除の初めと終わりには，リーダーを中心に必ず班でミーティングを行う。掃除方法や，班員の掃除分担などは生徒同士で話し合いをさせて決定，実施する。また，リーダーと担当教員が相談し，掃除に遅刻してきた生徒への対応など班員が時間いっぱい掃除に取り組めるような工夫を考える。

取組の課題・創意工夫『キーワード　生徒に権限と責任を与える』

・アイディアや工夫に対する評価
　美化委員会による，表彰や各班の取組の紹介を実施した。表彰は，美化委員会が掃除の様子を確認し，表彰基準を設け，「クリーンキーパー賞」の表彰を行った。各班の取組が分かるような紹介では，各班の取組をポスターにして掲示したり，独創的な取組を生徒会集会で紹介したりするなどした。
・予算を与える
　各班に 2000 円の予算をつけ，それぞれの班で必要な掃除道具を購入した。例えば，一人一本マイブラシを持てるようにしたり，激落ちくんやたわし，高い窓を拭けるようなワイパーなどを各班ごとに購入し，班ごとに工夫しながら掃除に取り組むことができた。
・リーダー，教職員アンケートの実施
　時間の経過とともに，マンネリ化が課題となってきた。そのため，リーダーや教職員に定期的にアンケートを実施し，啓発を行うことで，縦割り掃除の意義づけを再認識させた。また，アンケート結果を生徒に提示し，課題の発見とともに，取組の改善点を考えさせた。

取組の成果（効果）『キーワード　自発性や自主性，自律性の育成』

・生徒アンケートの結果

	昨年12月 肯定	5月 肯定	今回 肯定	昨年12月比
掃除を時間いっぱい真面目に取り組んでいる	71.9	85.6	86.9	↑ 15.0
係や委員会活動などの仕事に積極的に取り組んでいる	77.9	81.2	81.7	↑ 3.8
係や委員会活動などの仕事を通して，自分はみんなの役に立っていると思う		54.5	61.1	↑ 6.6
学校やクラスの行事に参加することは楽しい	76.6	81.1	80.6	↑ 4.0
クラスや学校のいろいろな活動に貢献していると思う	55.8	65.4	65.1	↑ 9.3

今　後　の　展　開『キーワード　定着と徹底を基盤としたさらなる創造』
・今年度の取組を継続し，本校の伝統・文化へとつながるよう，全教職員で一つひとつの取組の意義を共通理解し，徹底して取り組んでいく。 ・現状維持にとらわれるのではなく，『創造』する気持ちや雰囲気づくりを持ち続け，生徒が主体となった取組を継続させる。
他校へのアドバイス『キーワード 生徒の実態に合った取組』
・生徒の実態を分析し，それに伴った取組をする必要がある。本校の生徒には，「生徒の自己肯定感が低い」という実態と，「仲間意識が強く，生徒同士のつながりを大切にする」という特徴がある。そのことを踏まえ，生徒同士が協同して取り組むことにより，自己肯定感を高め，主体性や自律性を育成するために縦割り掃除を実施した。全教職員で，今何をするべきか焦点を絞った取組を考え，実践していくことが何より重要だと考える。